

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 21年 5月 15日

【評価実施概要】

事業所番号	2890500057		
法人名	株式会社ファイブシーズヘルスケア		
事業所名	まんてん堂 グループホームひょうご湊		
所在地	神戸市兵庫区荒田町3丁目82番2号 電話078-512-1080		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西		
所在地	川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	2009年3月30日	評価確定日	2009年5月15日

【情報提供票より】(2009年3月19日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 20年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 14人, 非常勤 人, 常勤換算	3.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	3階建て	2~3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	58,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(360,000 円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	400 円
	夕食	530 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(3月 19日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名	
要介護1	4名	要介護2	6名			
要介護3	8名	要介護4	0名			
要介護5	0名	要支援2	0名			
年齢	平均	82.7 歳	最低	65 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	川崎病院、はまの医院、水谷クリニック、甲南デンタルクリニック
---------	--------------------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

・ホームは最寄の地下鉄駅から徒歩15分ほどで、近くを有馬街道が通る神戸市中心にある。古くからの商店も残っており生活に便利な環境である。ホームは開設1年目であるが、地域住民の協力意識はあり、地域行事参加や交流が進められつつある。職員は自分の親、或いは自分自身が受けたいと思えるサービスの実践に向けて、自宅で過ごすような雰囲気作りに日々努力している。職員の内部研修をさらに充実させることで、利用者の要望を最大限に尊重し、その実現に向けて、施設のイメージを越えて「利用者の住まい」としてのホームをつくろうと目指している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)	・今回が初回である。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)	・管理者が職員に自己評価項目について説明し理解を促した。作成は管理者が行った。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)	・2ヶ月に1回の定期開催である。地域代表、地域包括センターの職員、他施設職員その他、多数の家族参加がある。地域の相互協力関係が良好で、認知症を理解しさらに協力関係を深めていこうとする気運もみられる。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)	・家族は運営推進会議に多数出席し意見もよく述べられている。会議終了後に行われる家族会では会食を通じて交流を図っている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)	・高齢化率が高いという地域特性はあるが、自治会、民生委員などの協力がある。地域行事には積極的に参加し、ボランティアとの交流も定期的に行っている。

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・理念として親や自分が受けたいサービス、子どもが継げる施設とする目的を示しているが、グループホーム独自の地域密着の理念は作られていない。		・ホーム全職員の意見を基にした地域密着の理念を期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・理念を掲示しているとともに新入職員研修時に理念の浸透に努めている。その実践については、日々の業務やカンファレンスで周知に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・近隣地域は高齢化率が高く、相互協力の意識がつけられている。民生委員などの地域の協力があり、季節の行事が行われホームはそれに参加している。地域ボランティアとホームは定期的に交流を図っている。		
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・今回が初回である。職員へは評価項目を説明し理解を促すにとどまった。自己評価は管理者が作成した。		・次回は、全職員が自己評価に関わられることを期待したい。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・2ヶ月に1回、定期開催している。地域代表、地域包括支援センターの職員、他施設職員、多数の家族が参加している。地域は人情味が残った住みやすいという特性があり、認知症を理解し協力していきたいという姿勢もみられる。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・市担当者との交流はこれからの課題である。</p>		<p>・今後はホームの状況を伝えて、日常的に相談できる関係作りが求められる。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・毎月の個別事務連絡、行事案内とともに、日常生活の様子を写真を添えて郵送している。健康面の状態変化や医療上の問題が生じたときは、電話で報告相談している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・運営推進会議終了後、家族会を開催し会食や意見交換を行っている。家族からは、認知症への接し方や対応に関する相談などがよく出る。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・ユニット別ではなくホーム全体としての利用者と職員の顔馴染みの関係づくりを重視している。内部異動はできるだけ行わず、あっても引継ぎには十分な時間をかけて利用者に影響が出ないよう配慮している。</p>		


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・外部研修は職員の積極参加を奨励し、必要に応じて職員を指名している。内部研修については入職時の研修をより重視し、2年目に入りテーマごとの研修を行う予定。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・管理者は同業者と、意見交換も兼ねた交流を行っている。</p>		<p>・職員の勉強会も今後は検討されたい。</p>
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・入居は本人の同意、納得を前提にしており、その旨を家族に説明している。自宅を訪問しての利用者との面談や、生活環境などを把握するよう努めている。自宅での環境を維持した雰囲気づくりと、家族の積極的な来訪や協力を求めている。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・人生の先輩として敬う言葉使いや態度に心がけるとともに、利用者の思いに近づけるよう見守り寄り添うサポートに努めている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・利用者個々の思いの把握、ケアのすすめ方は、まず本人に聞くことを原則にしている。意向の把握困難な場合は家族と相談して検討している。</p>		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・利用者の些細な言葉や、日常動作に注意し、カンファレンスで意見を出し合い、家族や主治医と相談して計画にまとめている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・定期及び必要に応じ随時見直している。日常的な家族からの相談が多く、それらを反映させた計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・併設のデイサービスと連携した行事、機械浴の利用、看護師の点滴の管理等がなされている。医療連携体制を活用し、急変時の往診や薬の検討に迅速な対応ができ、入院の予防が可能になる等多機能性が活かされている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・希望者には月2回医師の往診、看護師の巡回が行われている。従来の主治医の継続も可能だが、定期受診には家族が付き添う。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・看取りの指針を入居時に説明し、同意を得ている。職員には看取りの方針を説明しているがまだ事例はでない。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・羞恥心に配慮し、失禁の対応は声かけして居室に移動する。年長者への尊敬の念を常に意識するよう努めている。個人情報の保護について入職時研修を行っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・事業所の予定に利用者の生活を合わせるのではなく、一人ひとりのペースの尊重に心がけている。起床や食事、入浴時間、買物、外出、金銭自己管理等本人の望む過ごし方を支援している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・ご飯、味噌汁のみホームで作り、職員の手の関係で他は給食会社に依頼している。盛り付けや片付けには利用者も参加している。レクリエーションで週1～2回昼食にカレーやお好み焼きを作っている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>・入浴の時間、回数はできるだけ希望に応じられるよう職員配置をしており、入浴を楽しむ支援が行われている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>・それぞれの力を活かして、和裁、掃除、野菜作り等の役割を持ち、参加型のイベントや趣味等で、生き生きと暮らせる支援をしている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>・近くの公園、神社への参加、買物等は日常的に行っている。管理者が用事で出掛ける時利用者と一緒に行くこともある。馴染みの美容院やレストラン、すし屋へも希望に応じ個別外出を支援している。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>・家族の理解を得、安全のため玄関の施錠をしている。玄関前の菜園や外出支援で閉塞感を与えないようにしている。</p>		<p>・閉塞感を与えない試みもされているが、自分の家という雰囲気を作るためには、施錠についての取り組みの工夫を更に望みたい。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・年2回避難訓練を行っている。災害対策マニュアルを作成している。希望職員でAEDの講習を行った。近所との交流を通して災害時の協力要請も行って行きたいと管理者は考えている。</p>		<p>・近所への協力要請を早急に行ってもらいたい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・一人ひとりの食事摂取量を把握し、水分摂取は必要に応じて記録している。摂取量の少ない人には好みの食べ物や飲み物を提供し摂取量を確保している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・畳コーナーがあり、洗濯物たたみ等の作業をしたり、横になったりしている。家族控え室あり、宿泊も可能。鏡を見て混乱する人の為、鏡にロールスクリーンを付けたり車椅子対応の鏡を設置したり、個々の状態に合わせた支援がなされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・入居前に使用していた馴染みの品物を家族に協力を得て持ち込んでもらい、くつろいで生活できる居室づくりが支援されている。職員は居室に入るときはスリッパを脱ぐ配慮をしている。</p>		

 は、重点項目。